

本の ひろば

[月刊] キリスト教書評誌

一般財団法人キリスト教文書センター

1957年7月17日第三種郵便物認可

2016年2月1日発行（毎月一回発行）第697号

ISSN 0286-7001

出会い・本・人

学びと招き 市原信太郎

本・批評と紹介

M.シュレーマン 著/棟居 洋 訳
ルターのりんごの木 宮田光雄

G.S.サンシャイン 著/出村 彰、出村 伸 訳
はじめての宗教改革 吉田 隆

山北宣久 著
一笑懸命 大川従道

山内英子 著
あなたらしく生きる 沢 知恵

塩野和夫 著
キリスト教教育と私 中篇 伊原幹治

西谷幸介 著
十字架の七つの言葉 深井智朗

神田健次 著
W.R.ランバスの使命と関西学院の鉞脈
原 誠

堀内 昭、高橋知義 著
動物よもやま話 吉松英美

マルク・リエンナル 著/時任美万子 訳
プロテスタントからカトリックへ
橋をかける説教 久米あつみ

越川弘英 著
すてたもんじゃない 栗原宏介

東海林昭雄 編、朝栲会全国連合 協力
語り継ぐ信仰 米田昭三郎

本屋さんが選んだお勧めの本

既刊案内

書店案内

2 FEBRUARY
2016



神の創造の神秘と
静謐な祈りの世界



キリエ 祈りの詩

ヨツヘン・クレツ・パー
富田恵美子・ドロテア／富田裕訳
森本二郎写真

ナチスの迫害の下、愛する妻と娘と共に自死へと
追い込まれた詩人が放つ静謐な祈りの世界。神の
創造の神秘を見つめた森本氏の写真と、十字架
を見つめ、神にすべてを委ねた祈りとが響き合う。

●四六変型判・64頁・本体1,200円

好評既刊

F・G・イミンク 加藤常昭訳 ●A5判・486頁・本体5,000円
『信仰論——実践神学再構築試論』

神の言葉の神学の系譜に立ち、罪人を義とする神の絶対的な優位性を語りながら、聖霊による神の内在に着目し、人間の信仰生活の主体性を展開させる意欲的な試み。



W・J・ファン・アツセルト編 青木義紀訳

スコラ的方法論と歴史的展開

後・宗教改革期の改革派神学の方法論と歴史、そして主要な神学者を概観。現代にまで影響を及ぼす正統主義時代の神学的・霊的遺産を学ぶ格好の入門書。

●A5判・336頁・本体3,900円

改革派正統主義の神学

新渡戸稲造と歩んだ道

佐藤全弘

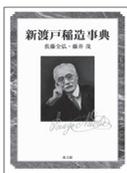
●四六判 368頁・本体2,000円



好評既刊

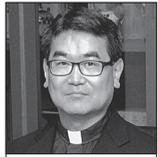
佐藤全弘／藤井茂 『新渡戸稲造事典』

世界平和の実現のために生涯尽力した国際人・新渡戸稲造。戦戦70年が過ぎた今、その精神を現代人に分かりやすく語りかける渾身のメッセージ集。人間的魅力に迫るエピソードも満載。



新渡戸稲造研究の集大成として、その生涯、交友関係、家系、著作、思想、揮毫、教育など多角的観点から「新渡戸稲造」に光をあてた画期的な「事典」。詳細な年譜付き。「新渡戸稲造」を知りたいすべての人に送るハンドブック！

●A5判・774頁・本体5,600円



出会う・本・人 学びと招き——市原信太郎

筆者は十年ほどの会社員生活を経て聖職志願をし、現在日本聖公会の司祭として働いている。二代目の聖公会信徒として幼児洗礼を受け、子どもの頃から教会に通うことを生活の一部として生活してきた者として、これは自然な選択であったように見えるかもしれない。しかし、実を言うと教会というものに対して非常にアンビバレントな感情を抱きながら成長してきたというのが正直なところであり、成長するにつれ所属教会での主日礼拝が無味乾燥に感じられるようになっていた。

進路について考えることの多かった大学四年の冬、所属教会で開かれたテゼ共同体のスタイルで祈る黙想会に、特に深い考えもなく参加してみた。ここで、沈黙の中に身を置くその独特の祈りに深く引きつけられた。これが一つのきっかけとなり、わたしは教会の礼拝というものに強い興味を持つようになった。

そんな気持ちから、それまでは足を踏み入れたこともなかったカトリック教会でミサに参加してみても、ミサ全体を包む独特の雰囲気には大きな衝撃を受けた。ここには自分が求めていた何かがあると感じた。これをきっかけに初めて手に取った礼拝に関する本が、土屋吉正神父の手になる『ミサ——その歴史と意味』（あかし書房、絶版）であった。この本を通して、今まで自分が気づか

ないでいた教会の礼拝の豊かさを教えられたのだった。

そしてその後の教会生活の中で、この豊かさは確かに自分の属する教会の伝統の中にも豊かにたたえられているということを見ることができ、聖職への道を具体的に思い描くようになった。神学生としての養成の期間、そして按手されてからも、わたしの学びの関心の軸は礼拝にあった。それは、『ミサ』という一冊の本との出会いによつて、礼拝に向かい合う自分自身が変わえられ、そしてそれを通して教会に向かい合う構えが変わえられた、このような実感を持っているからである。

浅学非才を顧みず、礼拝に関することを書いたり話したりする機会をしばしばお引き受けるのも、この個人的な経験がベースにある。神の招きに応える上で、わたしには「学ぶ」ということが必要だった。改めて、『ミサ』との出会いに、そしてそれを通してわたしが「教会」と出会うことができたことに感謝したいと思う。そして、多くの方々にこのような出会いが与えられるよう、及ばずながら力を尽くしていきたいと思う。

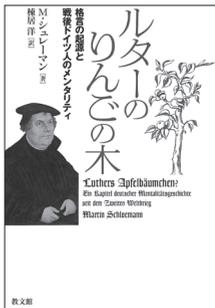
（いちほら・しんたろう）日本聖公会司祭、立教池袋中学校・高等学校
チャプレン）

ドイツ社会を変革した希望の言葉

M・シュレーマン著
棟居 洋訳

ルターのりんごの木

格言の起源と戦後ドイツ人のメンタリティ



宮田光雄

「たとえ明日世界が滅びることを知ったとしても、私は今日りんごの苗木を植える」——この格言は、これまで宗教改革者ルターの言葉としてよく知られてきたものである。

東日本大震災直後、この言葉がインターネット上でも時折見かけられたのは当然だろう。大災害に直面して絶望することなく立ち上がる希望を説くものとして受けとられていたのだ。

もつとも、この言葉をフランス・レジスタンスの運動の中から生まれたものと紹介する声もあった。そのほか、新自由主義によるグローバリゼーションの拡大を批判する坂本義和氏の絶筆の中にも、この言葉が引かれている。草の根の民衆の「いのちを生かす闘い」を訴えるこの文章を含む遺稿集（『平和研究の未来責任』カバールの横帯に、この格言の文字を発見して驚かされた。

本書の掲げる中心的なテーマは二つ。一つは「この言葉が本当にルターに由来するのかという歴史的問題」。もう一つは——作者がルターであるか否かにかかわらず——それが「どのような理解され用いられてきたのか、また今後いかに理解され

用いられるか」という将来的な「見込みを含んだ問題」である。

その限りでは、何よりもまず、格言の本当の作者は誰なのかという一種ミステリーまがいの興味をそえられる。それだけではなく、漂流するような現代の社会状況の中で、この格言の訴えようとする信仰的意味を学び直すためにも、本書は格好の読み物となるのではなからうか。

第一のテーマ。謎解きの答えを読者にあらかじめ示すのはやや躊躇^{ためら}われるが、この格言は実はルター由来のものではない。

『卓上語録』をはじめ、彼のどの著作にも文字通りの形では存在しない。しかし、この格言の作者である「似て非なるルター」
Ⅱ『疑似ルター』は、まったく無から生まれたのではない。本書の著者によれば、ルターの作詞した賛美歌や詩編翻訳などを通して、ドイツのキリスト者の間で日常化していた言い回しを用いて、ほとんど意識されなままに言葉の入れ替えが行われて、出来あがったものだろうと推定されている。

第二のテーマは、この格言がドイツの政治文化や民衆心理の

中でいかなる役割を演じたかという形で取り上げられる。中でも一九七〇年代から八〇年代にかけて生態学的危機の声が高くなった時期に、この格言は、ドイツ内外の多くの文学者や神学者、さらには政治家たちによって口にされた。評者には、とくに東ドイツの社会変革にたいする関わりが興味深かった。そこでは、生産効率至上主義を追求するあまり、無軌道な産業公害によって国土が荒れ果てていったのだ。こうした環境破壊に反対して、『疑似ルターの言葉』は、意外な変革力を発揮した。

国土に『苗木を植えよう』と訴える象徴的行動を、独裁政権も力で押さえつけることはできなかつたから。それは、やがて若者たちの軍事教育反対や兵役拒否の動きとも連動して、ついにはベルリンの壁を崩壊させることになったのだ。

この有名な格言がさまざまなヴァリエーションで伝えられているところからすれば、作者は一人ではなく、多くの民衆だつたと言ふべきかもしれない。それにしても、「りんごの苗木」

という象徴的な言い回しは、まことに素晴らしい。そのか弱く見える可憐な姿は、それだけ鋭く『世の終わり』という不安に抗して、希望に生きる精神の力強さを印象づけてくれるのだから。

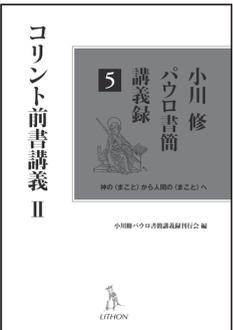
著者はヴッパータール神学大学で長く組織神学と歴史神学を教えてきた教授である。本書は、第二次大戦末期から最近にいたるまでの膨大な歴史資料や時代証言、さらにアンケート調査などを用いた本格的な研究である。この格言の起源史と戦後ドイツの教会と社会にあたえた影響史の分析として信頼することのできる優れた業績であろう。

私たちの周りに迫る暗い時代の兆しの中で、本訳書の出版は、まことにタイムリーなものとして歓迎したい。

(みやた・みつお 東北大学名誉教授)
(四六判・三三三頁・本体二七〇〇円＋税・教文館)



新刊



小川修パウロ書簡講義録5

コリント前書講義Ⅱ

小川修パウロ書簡講義録刊行会編

●A5判上製 四〇二頁 ●定価三二四〇円

小川修先生が長年追い求め掴まれた福音理解は、同志社大学神

学部大学院での三年間（二〇〇七～一〇年）に亘るパウロ書簡講

義に結実したと言っても過言ではない。ひとこと言えば、「神の（ま

こと）から人間の（まこと）へ」というパウロの福音理解であった。

LITHON [リト]

〒101-0061 千代田区三崎町2-9-5-402
FAX 03-3238-7638

笑う門には祝福来たる！
山北宣久著

一笑懸命



大川従道

「不まじめ牧師」は、絶対にゆるめられない。さりとて「くそまじめ牧師」の説教など聴いてられない。

私のモットーは、「子供にも、博識ある人にも、同じ口調で話す……程度の高い平易さ」（マルク・ブロック）、「難しいことをおもしろく、おもしろいことを深く、深いことを易しく」（井上ひさし）です。そういう説教者を「非まじめ牧師」というのです。

これは、私の新著『非まじめ牧師の説教集』のまえがきの一部です。説教が「真理の御霊」に満たされ、上よりの智慧にあふれていなければ、人の魂に届くことはできない。それが基本であり中心であるが、現代の老若男女を導くためには、ひと工夫も、ふた努力も必要である。

この度出版された『一笑懸命』は、山北牧師の「一生懸命」が産み出した傑作本である。実に面白い。まことに愉快である。山北牧師は、この筋の天才である。もし天災がおこっても、この本があれば、天際（空の果て。はるかかなた）までも、笑

いが消えないであろう。

この本は五つに分かれている。

I 信仰によって生かされよう！

この欄は、先生の教養と博識が滲み出ているが、主日礼拝には、ちよつと使えない話題もある。私は先日、それを用いてしまった。笑いはゲットしたが、使い方によっては、長老会にかけられるかもしれない！

II 悩み多き時にも……

この欄は、現代社会にふり廻されている人の必読箇所です。教えられることが多く、神学的にも深いです。

河野進牧師の詩は感動です。説教者が用いたくなるネタがたっぷりあります。

「まっ黒いぞうきんで

顔はふけない

まっ白いハンカチで

足はふけない

用途がちがうだけ

使命のおとさに変りがない

ハンカチよ たかぶるな

ぞうきんよ ひがむな」（「使命」）

III めぐりくるクリスマスに

私は教会歴五〇年であるが、一年で一番苦しむのは、クリスマスシーズンである。毎年同じテキストに挑戦して、クルシミアス!? この欄は、日本中の牧師の助けとなるでしょう。

IV 小咄あれこれ

著者は四月一日、エイプリルフル生まれとのこと。どうりで！ここで狂歌の秀作を披露。

「見ぬふりや 聞かぬ振りやら 知らぬふり

馬鹿のふりして 世を渡るかな」

なんと新島襄の歌です。新島先生もけっこうジョークを紹介されているのに驚きです。

V 珍解聖書

（おおかわ・つぐみち＝大和カルバリーチャペル牧師）
（四六判・一三六頁・本体二〇〇円＋税・日本キリスト教団出版局）

キリスト教の基本事項をまとめた
オールカラーのビジュアル資料集

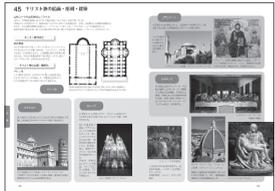
キリスト教資料集

富田正樹

聖書の内容や歴史の紹介に加え、人物の生涯や言葉、キリスト教がもたらした文化・芸術、社会活動といった現代社会とのつながりを、図を交えて解説。



B5判 並製・64頁・1,080円



▲豊富な資料を通じてキリスト教とは何かをわかりやすく伝える

神学は語る パウロの教会は どう理解されたか

R. S. アスコフ 村山盛葦 訳

初期教会はどのようなモデルを参照し、いかなる機能を備えたのか。歴代の新約学者が積み上げて来た議論を整理・概観する。



A5判 並製・178頁・2,592円

現代聖書注解 全44巻 サムエル記上

W. ブルツゲマン 中村信博 訳

サムエル記を文芸学的に考察・議論。本文に密着し、テキストが表現する現実の奥行きと深み、超越的な神の働きを読み解く。



A5判 上製函入・346頁・6,912円

日本キリスト教団出版局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

☎03-3204-0422 ☎03-3204-0457

E-mail eigyoubu@bp.uccj.or.jp 《価格8%税込》

http://bp-uccj.jp

関わりの中であなたらしく
山内英子著

あなたらしく生きる



沢知恵

乳腺専門の外科医で聖路加国際病院のプレストセンター長である山内英子さんによる励ましに満ちたエッセイ集です。『こころの友』（日本キリスト教団出版局発行の月刊紙）連載中から愛読していました。乳がんのお医者さんって、どんなことを考えているのだろう？ と興味津々で。

約二十年前、二十代の私は、母の乳がんに寄り添う体験をしました。主役はもちろん母ですが、すでに父を胃がんで亡くしていて、長女の私が仕切る役回り。社会性もそれほどなわっていない年齢で突然ふりかかってきた大役に、オロオロしたのをおぼえています。ただでさえ動揺している母に心配をかけまといと、気を保ち、ひとつひとつ対処しました。多くを学びました。さいわい手術は成功し、母はいままも元気で世界中をたびまわっています。そのとき出会い、お世話になった医師、看護師たちの印象から、乳がんの治療とケアに特有のデリケートさを感じました。女性にとっておっぱいの存在は、アイデンティティの根幹にもかかわる問題なのだ。

大泣きした話。いつも完璧は無理でも、六〇パーセントを目指して、息子さんの高校三年間はお弁当をつくるようにした話。同じく医師であるパートナーと、毎朝聖書を開きたいのりあう話。夫婦げんかをして、神さまとL字の関係があるから客観的になれる話。どれもうなずきながら共感しました。

「あなたらしく生きる」ことが、かつてないほど困難な時代です。ひと昔前まで、女性には生きる道の選択肢がなかった。「あなたらしさ」など求められていなかったし、考える必要もなかった。いまは選択肢が増えた分、また「格差」が広がった分、一瞬たりとも人と比べないでは生きられない。では、昔の女性は「あなたらしく」なかったのか。そうではない気がします。どんな時代にだって、「あなたらしく」生きた人たちがいます。時代を切り開くためにたたかっていた「あなたらしさ」もあれば、家庭の中でおおいに「あなたらしさ」を発揮して次世代

ですから、山内さんのことばのひとつひとつは、自然と患者の家族目線で読みました。ああ、お医者さんは、こんなふうになり添ってくださるのだ。不安でいっぱい患者を抱きしめたり、いのち残り少ない患者のためにその人が食べたいかき水を買いに出かけたり、手術の際にその人の将来を思いながら気持ちを高めたり。

白衣の医師は、どうしたって沈着冷静にうつるものです。それがこんなにも心を動かしながらお仕事してくださっていると。感激の連続でした。

医師が全員そうとはかぎりません。でも願わくは、医師もうんと人間的であってほしい。医師のひとりひとりにも家庭があり、生活があり、落ち込むことだってあるはず。この本は、そんな願いに応えるかのように、医師の人間的側面が惜しげもなくさらけ出されています。

山内さんは、母でキリスト者でもあります。多忙な毎日、息子さんから母として全否定されるようなことばを浴びせられ、

につなげていった人もいます。どんな状況にあっても、「らしさ」には正解がなく、それぞれがけんめいに生きたら、すべてが正解でしょう。山内さんはとりに座って、そうよ、きつとそうよ、とやさしくほほえんでくれる気がします。

山内さんは、しめくりにこう書いています。

「人との関わりの中で、あなたらしさが出てくるのです」。ほんとうの私らしさは、神さまが一番よくご存知で、わかっているのは自分自身。神さまが、人との関わりを通して、鏡のように私らしさをうつし出してくださると思えば、今日も出会った人たちと思いきり関わっていく勇気がわいてきます。心の中にあたかさがじんわり広がる小さな本です。悩み悲しむ人に、そっとプレゼントしたくなるような。そして私自身そばにおいて、弱ったときにめくりたくなるような。

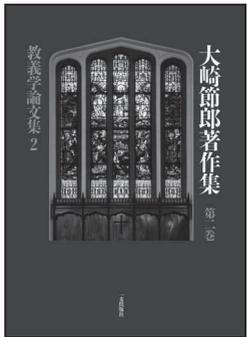
(B6判・一〇四頁・本体一〇〇〇円＋税・日本キリスト教団出版局)
(さわ・ともえ) 歌手、日本基督教団岡山教会員



大崎節郎著作集

第二巻 教義学論文集2 (全7巻)

大崎節郎
Setsuro Osaki



聖書と信仰告白の
かわりを論じ、
「信仰告白」という
教会の伝統への関心を
強く促した『神の権威と自由』。
教義学の諸問題を扱った
論文などを収録。

菊判・上製・函入・内容案内進呈
定価【本体 7,800 + 税】円
ISBN978-4-86325-083-3



株式会社 一麦出版社
札幌市南区北ノ沢3丁目4-10
TEL (011) 578-5888
<http://www.ichibaku.co.jp>
携帯 mobile.ichibaku.co.jp

青年時代の出会いを回想する
塩野和夫著

キリスト教教育と私 中篇



伊原幹治

著者は西南学院大学国際文化学部に通務する日本キリスト教史の研究者である。この本は、『キリスト教教育と私 前篇』の続篇で、同志社香里高校卒業後、同大学経済学部へと進んだ著者の大学時代四年間の出来事を描いている。構成は、年代を追って書かれた第一章〜第八章と、その折々に書かれた一一の「附録」とに分けられている。それにしても既に大学生の頃から微細な点にまで丹念に記録する姿勢があった事に驚く。著者からは折に触れて、抜き刷り（西南学院大学『国際文化論集』）を頂いていたが、本になって改めて通読して、ひとりの若者にとって、偶然であっても、それらの出会いが彼の人生に彩りを与える重要な意味を持っている事に気付かされる。人間とは、このようにして育てられるのだ。

描かれている場所が京都を中心としているが、その方面の地理に不案内な者に、数カ所に地図が描かれ、様々な場面で撮られた写真が添えられている。また、著者自身が描き、「へたくそな絵」（二〇頁）と友人に評されたという二枚の挿絵が配され、「言葉では表現しきれない何か」（同）を付け加える効果

を与えている。

著者は一九五二年の生まれである。私とほぼ同時期に大学時代を過ごしている。人生で高校から大学にかけての時代が持つ意味の大きさは特別なものである。また、一九六〇年代後半から七〇年代初めにかけては、「大学紛争」（これに関わった者は、「大学闘争」と呼ぶ）が高揚し、やがて活動が挫折していった政治の時代であった。激しく揺れ動いたこの時代に、こういう形で「自己」形成を行った青春があったことを知り、それを鏡にして、自分はこの時に何を考え、何をしていったのかを改めて思い起こさせてくれるものとなっている。

これは自叙風に描かれた、多くの人との出会いを通して成長する一人の若者の物語である。人生の節目となった多くの人の出会いが興味深く描かれている。特に、加茂大橋の下で生活するホームレスの「おっちゃん」との出会いと別れのエピソードが印象深い。大学一年の通学途中に鴨川の河原で生活しているホームレスから突然話しかけられた事がきっかけであった。その後、「（学校に）急いでいる朝に、見たくないものに

出会ってしまった！」と思った瞬間、その人に注がれている誰かの視線を感じた。誰かとは……主イエスである。『主イエスが見つめておられる！』（二六頁）と、青年は思ったのである。そう思った瞬間に青年はそこから逃れられなくなった。こうして、塩野青年はこの「おっちゃん」にパンを届けるようになった。その後いくつかのエピソードがあるものの、出会いが唐突に始まったものなら、別れもまた唐突であった。ある日、京都市役所によって強制退去させられ住まいは撤去された。「おっちゃん」の姿はその日以来、彼の前から消えたのである。更に、建築現場でのアルバイトで四〇代のひとりのおっちゃんから「お兄ちゃんは大学生や。大学を卒業したら、どんなことをしようと考えているんや？」と問われた塩野青年は、「……いろいろな人を見てみると、その人たちが救われて人間らしく生きることができるよう、そのための勉強をもっとしたい」と思っている……」と答える。すると、間を置かずに「それ、

▼生と死を語るうえで重要なテーマである「スピリチュアルペイン」について
の貴重な講演録を一冊に！

スピリチュアルペインとそのケア

石居基夫 ● 編著
ウアルデマール・キツペス、
窪寺俊之、賀来周、大柴譲治 ● 著

キリスト新聞社
〒162-0814 東京都新宿区新小川町 9-1
TEL 03-5579-2432
FAX 03-5579-2433 (価格税別)
E-Mail support@kirishin.com
URL http://www.kirishin.com

キリスト新聞社の本
Kirisuto Shimbun, Co., Ltd.
▶『しあわせなら手をたたく』の作者が戦後70年の節目に緊急出版!

戦争・平和の
いのちを考える

木村利人 著

しあわせなら
態度に示そうよ!

好評発売中!

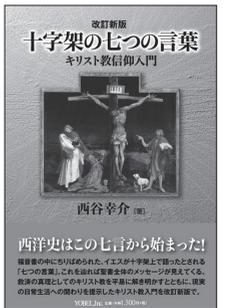
戦争・平和の
いのちを
考える

しあわせなら態度に示そうよ!

木村利人 ● 著
■A5判・110頁・1,000円

聖書の語る深い慰めを七つの言葉で味わい知る
西谷幸介著

十字架の七つの言葉 キリスト教信仰入門



深井智朗

ラインホルド・ニーバーの説教を読むことがある。今年は特にニーバーが第二次世界大戦前後の世界に向け語った政治的発言のことを思い起こしながらそれらを読んだ。ニーバーがさまざまな雑誌や各種の講演でなした発言がアメリカの政策を決定したとか、政治的に強い影響を与えたということを実証することは困難だし、そのようことはほとんどなかったであろう。

しかし彼の説教や政治的発言に多くの責任ある政治的指導者たちが、また政策の立案にあたるシンクタンクのコサルタントたちが強く感銘を受け、慰めを与えられるだけではなく、悔い改めを迫られ、人間や国家の利益や欲望が衝突する政治的判断に対して誠実であることを意志しようとしたことは確かなことであろう。むしろこの間接的な影響力の方が重要であったのだと思う。彼は聖書の物語や言葉、キリスト教の教義を遠慮がちに使ったりはしない。人間と社会の罪を大胆に語る。けれどもその巧みな言葉使用と論理とはそれを読む人々の人生に、また決断に知恵を与え、またその人が負わされた責任ある判断に良心を与える。聖書的であり、聖書の高度な解釈が、読者を現実

から乖離させてしまうのではなく、むしろより深く現実の諸問題へと向かわせる、生きる力と真の知恵を与えるのである。

この度改訂新版が刊行された西谷幸介氏の『十字架の七つの言葉』を読みながらそのようなニーバーの説教を思い出した。

イエス・キリストの十字架上の七つの言葉についてはこれまでも優れた説教がいくつも書かれ、また芸術家にもさまざまなインスピレーションを与えてきた。本書はかつてヨルダン社から改訂第三版まで刊行され、大学の教室で、教会の入門クラスや洗礼の準備会で読まれ、多くの人々を信仰へと導いてきたもので、この度新たな装いで読者のもとに届けられた。

読者はこの書物から何よりも聖書の言葉の語る深い慰めを学ぶ。それだけではない。聖書を、教理を踏まえて読むことも教えられる。さらに、これこそが本書の魅力なのであるが、読者は自らのこれまでの人生を、また自分自身の考え方を問われ、興味深い自分とは異なった遠い世界の問題であると思っていた信仰の世界が、今ここで、この私に語りかけていることに気づかされる。聖書と教理への深い沈潜とそこから引き出される

堅実な言葉が、現代社会や現代人への深い慰めの言葉となつていく。いや慰められるだけではない。傲慢を打ち砕かれ、これまでの生き方を考えさせられ、反省させられ、裁きと悔い改めへと人々を導く。慰めを語る言葉はこの世界に溢れている。しかし人生について真剣に問い、過ちを正され、神の前に正しく裁かれることを願い、新しくなることを励まされる言葉を聞くことは少ない。本書で読者はそのような言葉と出会う。

著者はいう。「キリスト教の信仰はイエス・キリストの救いにたんにこの世的な関心を越えたものを見ます。たしかに(この)宗教的伝統においては、人間個人の救いと共に人間社会の救済の大切さが説かれています。社会的救済は同時に政治的救済です。けれども、理想の政治がなされれば人間存在の救済が究極的な意味で達成されるのかと言えば、それは早計かつ短絡的な答えと言わざるをえません。政治や経済や法……は私たち人間一人ひとりの生き死の問題に……立ち入ることはできない

のです……政治の力はとても重要ですが、政治そのもので人間は救われないのです。……真のメシアは政治的救済を排除することなく、それを凌駕する救済を私たちに備えてくださった神からの使者であるという確信をキリスト教信仰はもつのです(四九頁以下)。そして著者は究極の問題としての「罪」を語り出す。

著者はバーゼルでヤン・M・ロッホマン教授から「キリスト教の教理がもっている『現実への関連性』という視点」を学んだという。人間の生き方の土台となるキリスト教的なもの考へ方を生み出す聖書の言葉であり、教理の意義のことである。本書が大学の教室で、また何よりも教会での信仰入門クラスでさらに用いられることで、真の悔い改めに基づいた現代を生きるキリスト者を生み出し、励ますことは間違いないと確信している。

(ふかい・ともあき)金城学院大学人間科学部教授
(四六判・一九六頁・本体一五〇〇円+税・ヨベル)



アウグスブルク 信仰告白

メランヒトン著 ● ルター研究所訳
● B6判並製 ● 定価：1000円+税

日本福音ルーテル教会
宗教改革500年記念事業
推奨図書

宗教改革期には、ルター派、改革派、急進派は次々に信仰告白文書を明らかにしたが、本書はそうした信仰告白文書の最初のものであって、ルター派の信仰表明の根本的地位を占め、ルター派教会のアイデンティティーを規定している。解説では、本書成立の背景と現代社会での意義について述べる。

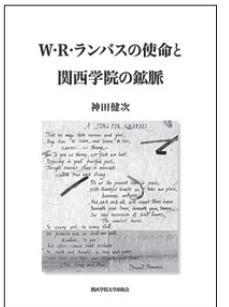
ISBN978-4-86376-046-2

LITHON [リトン]

〒101-0061 千代田区三崎町2-9-5-402
FAX 03-3238-7638

関西学院の宣教の歴史とその展開の諸相
神田健次著

W・R・ランバスの使命と 関西学院の鉱脈



原 誠

日本でも大きな大学のひとつである関西学院には多くの方々がおられるだろうと思うが、本書のような内容の文章を書ける人は、おそらく著者の神田健次氏以外にはおられないと思われる。非常にユニークな書物である。本書は学術書ではないものの、それぞれの資料の裏付けとともに特に関西学院に関わりをもつ人々にとっては、文字通り「関西学院の鉱脈」として、読者に関西学院から始まるさまざまな分野への広がりや深みを伝えてくれる。そのために多くの資料、地図、写真がこれまでの研究成果である諸論稿やコラムとともに挿入されて、興味深く味わい深いものとなっている。

著者は、アメリカとカナダでなされた関西学院史の資料収集から始まる学院史編纂に関わったことを通して「学院史の豊かな鉱脈に出会」（まえがき）ったと言われる。

第一部では、関西学院の創立者E・R・ランバスが、中国宣教部の方針転換によって一八八五年の日本宣教部の開設に伴って父J・W・ランバスとともに来日したその経緯が記される。彼は関西学院を創立した後に、当時開設されていた鉄道や瀬戸内航路を活用してなされた「瀬戸内宣教圏構想」がどのような

ものであったかを、当時の写真や地図、さらにそれぞれの当時の時刻表とともに紹介する。そして西日本を活動の範囲とした南メソジスト教会の伝道によって設立された学校と教会が写真とともに紹介される。関西学院によって始められたメソジスト教会の教線が、どのような経緯をたどって今日にいたるかを知ることができる。W・R・ランバスとともに伝道を担った医者でもあった父J・W・ランバスの活動が、今日も「ランバス」と名付けられた売店が広島島の庄原にある、というようなことも写真でも示される。

さらにW・R・ランバスが、来日以前に派遣されていた中国における上海、蘇州、北京、吉林などそれぞれの足跡をたどる。中国でW・R・ランバスが水路を小型ボートで伝道をしたことを跡づけることによって、後の「瀬戸内宣教圏」の伝道につながる原型があったことを記し、また中国の医療伝道がどのようなされたかとともに中国の深刻な飢饉に直面した時に緊急の支援をよびかけたレポートが紹介されるなど、当時のキリスト教宣教の有り様を紹介している。

ついても言及する。彼が中国で「医療宣教」に従事していたそのことが、世界のエキューメニカル運動の進展の時代と重なり合い、それが宣教地の一致と協力、神の宣教 (Missio Dei) の理念や信仰表現の土着化の推進に際しても、それが卓越したものであったことを指摘する。

第二部は、著者が、学院史から始まるさまざまな分野について文字通り著者ならではの視点、問題意識で取り上げた興味深いものである。著者自身も編纂委員として関わった『キリスト教学校教育同盟百年史』の作業を通して、関西学院が同盟にどのように貢献したかを明らかにする。関西学院のベーツ院長が同盟の会長として責任を負った一九二五年に、キリスト教学校の使命、その国際連帯、世界平和への理念を強調したことを挙げつつ、議題にはならなかったが軍事教練の中止を同盟で決議するように提議したことを紹介するなど、歴史的にも意義ある働きをしたことが注目される。

関西学院の関わる人々、とりわけ柳宗悦、寿岳文章、外村吉之介ら「民藝運動」に関わる人々を取り上げ、それが貴族的な工藝ではなく「民衆の日常生活に則する民藝」であることを指摘しつつながら、関西学院の歴史において「民藝運動」への関係を紹介し、一転して関西学院の教員と学生が社会奉仕会を設立して、今日の大阪暁明館病院へといたるその過程を紹介している。また日本の敗戦までに韓国から神学部にとのような学生が学び、そこで明らかになる関西学院神学部の教育と思想の特徴が詳細な資料とともに明らかにされる。最後に関西学院神学部で学んだ卒業生が、世界各地でどのように宣教の場で働いてきたか、その足跡を紹介している。

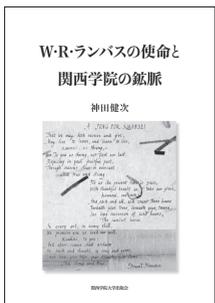
本書は、とりわけ関西学院に関わる人々にとっては自らのルーツのもつ意義を「鉱脈」として確認するための好著である。
(はら・まこと 同志社大学神学部教授)

(A5判・二五〇頁・本体二五〇〇円＋税・関西学院大学出版会)

関西学院大学出版会

W・R・ランバスの使命と 関西学院の鉱脈

神田健次著



〒662-0891 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
TEL0798-53-7002 FAX0798-53-9592
http://www.kgup.jp/

人間は自分たちだけでは生きてゆけない
堀内 昭・高橋知義著

動物よもやま話 キリスト教、仏教、神道をめぐって



吉松英美

こんな面白い本があつていいのか。率直な感想である。とにかく理屈抜きに面白い。よくもここまで調べたものだという驚き、思わず吹き出してしまふエピソード、飽くなき探究心と好奇心。行間から旺盛なサービスピ精神が伝わってくる。取り上げたのはいずれも聖書に出てくる動物で、犬、牛、鰻、馬、蚊、鳥、鯨、鹿、雀、猫、蠅、鼻、龍、驢馬の十四種。それぞれの話には、その動物が聖書のどこに出ているのかとか、聖書の時代にどう見られていたかが書いてある。たとえば、第一話に出てくる犬については「聖書の中では犬の評判は良くない。むしろ嫌われ者である。豚と並んで不浄の双壁」とある。次いでそれぞれの動物の生態、習性や人間はそれらをどう利用して来たか、個体の減少と種の保存、食物規制、供養、祭事、信仰の対象、地域の風習等、人間と動物との交流史を考古学、各種文献・役所の資料までを援用して紹介している。人間は自分たちだけでは生きてゆけないことが良く分かる。以下本書の中からいくつか拾ってご紹介したい。まず食物規制。「レビ記」(11・10)には「ひれやうろこのな

いものは、汚らわしいものであり、その肉を食ってはならない」とある。ヨルダン川の岸に立つと、ナマズが泳いでいる。食べないから繁殖していると聞いた事がある。面白いのは蚊である。「聖書に蚊？」といぶかしく思う人がいるかもしれないが、「マタイ」(23・24)には、「ものが見えない案内人、あなたたちはぶよ一匹さえも漉して除くが、らくだは飲み込んでいる」とある。著者によれば「聖書の時代は、蚊もブヨも生物学的分類の認識はなかったのではないか」という。叩かれて昼の蚊を吐く木魚哉 夏目漱石
本書にはこのように文学作品に描かれた動物が「万葉集」や「枕草子」などの古典から子規、荷風などの近現代作品まで沢山紹介されている。改めて古典を学ぶ重要さを感じたという。聖書の中の動物といえ、鯨を外す訳にはいかない。「さて、主は巨大な魚に命じて、ヨナを呑み込ませられた。ヨナは三日三晩魚の腹の中にいた」(「ヨナ書」(2・1))。ただし、聖書にはこれが鯨だとは出ていない。

著者は鯨の腸内から採れる結石(龍涎香)のことに筆を遊ばせて、一八世紀のアメリカの捕鯨船団の中にも「香料中の至宝」といわれる龍涎香だけを狙う船があったというから面白い。「犬」の項では、役所の統計を引用して、散歩中の犬の排尿場所は電柱、街路樹、公園の順に多いとか、排尿によって犬は情報発信をしているとか、「大鏡」によればベットの供養は一〇〇年も前から行われていたとか、いやはや興味は尽きない。「牛」については「平安時代の公家が他家の牛車と自分の牛車を間違えないようにとつけた目印が家紋の起源となった」とか、「インドの家庭で利用される燃料の半分以上が牛の糞である」といった話が続く。あの南方熊樺も顔負けである。鹿も聖書では名場面で登場する。「涸れた谷に鹿が水を求めるように」神よ、わたしの魂はあなたを求めぬ(詩編42編)。しかし、著者は「動物は一般に水のある所を本能的に知っているはずなので、水のない涸れた谷に水を求めることはないよ

うに思う」として、新共同訳に疑問を呈している。文語訳、口語訳には、「涸れた」という表現はない。書名に「よもやま話」とあるが、片手間仕事ではない。正確さを求める研究者としての姿勢は参考文献一覧からも伺える。「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかしく、ふかいたことをゆかいたに、ゆかいたことをまじめに書くこと」といったのは、作家・井上ひさし(「悲劇喜劇」二〇一〇年七月号、五八頁)であるが、その精神が本書の著者にも共有されているのはうれしい。著者の堀内昭、高橋知義氏は、立教大学理学部卒で理学博士。堀内氏は立教大学名誉教授、高橋氏は東京慈恵医科大学元教授。(よしまつ・ひでみ Ⅱ NHK元総務局長・日本聖公会東京教区聖職養成委員長) (A5判・一八〇頁・本体一八〇〇円+税・聖公会出版)

神学ダイジェスト119号

急速な変化を遂げる現代社会。その中において、多様な価値観に直面するキリスト者。本誌は海外の神学動向を紹介しながら、現代人のかかえる信仰への真摯な問いに光をあてる。

2015年12月発行
A5判128頁
定価630円

特集 平和と宗教
巻頭言 今、問われる平和
正義の美りとしての平和
宗教による暴力の正当化について
宗教と力をめぐる政治神学
シヤロームと聖書
濟州島カンジェオン村平和会議より
再興二百年の新しいイエズス会
回顧「ラウダート・シ」への手引き
他、小特集「奉献生活―独身・老い・病い―」

松浦悟郎
J・モルトマン
M・ヴォルフ
R・V・ジャンナー
G・ヴァーノニ
姜 禹一
K・シヤッツ
A・スパダロ

上智大学神学会
神学ダイジェスト編集委員会
東京都練馬区上石神井4-32-11
〒177-0044 Tel & Fax (03) 3594-4349
E-mail shing-dt@netjoy.ne.jp

境界を越えること

マルク・リエナール著
時任美万子訳

プロテスタントからカトリックへ
橋をかける説教
ストラスプールの街から



久米あつみ

カルヴァンを通じての友人、時任（斎藤）美万子氏の訳でマルク・リエナールの説教集が出るというので心待ちにしていた。表題はエキュメニズムそのものを表わしているので、期待はおのずからエキュメニカルな内容に向かうが、著者は必ずしもそのことをめざしているのではない。声高に教会一致が叫ばれることもなく、旧・新教会それぞれの教義の相違や優劣が主張されることもない。彼の意図は「前辞」の中にこう書かれている。

「わたしの目には福音宣教はその間のテキストが目立つようにとふたつの極を持つ。ひとつめは正確かつ説得力あるテキストの積義と、それをその時代の社会的、政治的、個人的、人格的な挑戦にすることとの間の緊張関係である。……もう一つの「極」は直説法と命令法である。……グローバル化した人々への宣教は……頭と、そして心に、感覚に訴えることが必要なのだ。つまりは意志にである。なぜならそれは動くことを欲し、行為及び変化に向けて始動するからである」。

この「ふたつの極」を踏まえた説教、特に前半の教会層に沿った説教は、メッセージが明確で、慰めと励ましに満ちている。かしまた欧州議会の存在が示すようにヨーロッパの中心のひとつでもあり、エキュメニズムがある意味実現されてきた寛容な町ストラスプールの、カトリックの大聖堂やプロテスタントの会堂の講壇から（サン・ジャック・コンポステラ巡礼途中、コンク大修道院での説教もある）発せられる説教だからこそ、静かな口調の中からも噴出する激情がうかがわれ、時代、場所を意識しながら聴衆は聞き入るのだ。

顧みてわが国ではどうか。置かれた場を意識しつつ世界へと開かれていくといった実感を、私たちは礼拝、説教の時間に経験するだろうか。考えて見ればそこが最先端の流行の場であろうに住む人としてまばらな山奥であろうが、説教が語られる場は歴史を持つはずだ。ある時は繁栄の驕りを、ある時は衰退の寂寥を、ある時は裏切りや不信を経験した場であるかもしれない。そうした「場」についての格別の感慨を持たない私たちは、ある意味「根無し草」なのではなからうか。根を一つの

昇天記念日の説教の中で著者はこう語る。「確かに我々は、この哀れな地は、歴史の風に吹きまわされ、悪の力に振り回されると知ってはいるが、十字架につけられ復活した方の手の中にある、とも知っている。以来、キリストは神の支配に参与している。

同時に地上の支配には限界があり、相対化されるのである。最強の全体主義であつてさえも、『王なるキリストが支配し、すべてを足もとに置かれる』と歌いつつすべての権力は限界を持ち、いかなる地上の権威も聖化すべきではないと我々は宣言する。そもそも全体主義権力が昇天の祝いを好まないのはおどろくことではない。アルザスがナチに支配された時には、禁止されたことを私は思い出す。多くの牧師たちが警察に捕らえられ、ある者たちは囚人とされた。「昇天祭」を祝ったという理由で。」

この条りを読み、また第二部の記念礼拝他での説教を読んだとき、評者は深く「説教が語られる「場」」について感じさせられた。ドイツとフランスのはざままで何遍も属する国が動くという歴史の中で、揉まれ苦難を負ってきたアルザスの首都、という「場」にもっていないがゆえに、境界を越えて広がって行くことも出来ないのではあるまいか。そんなことを思わせる著者の姿勢はまことに自然であり、真理は単純明快だと言つて、共なる賛美を新・旧両教会に呼び掛ける。

唯一著者に物申したいことがある。あなたは「カルヴァンはニコデモを好まなかった」（八六頁）と言われる。カルヴァンが斥けたのはニコデモではなく、回心前の、夜こっそりとイエスを訪ねてきたニコデモの行為をまねてどつちつかずの態度を取り続ける「（自称）ニコデモの徒」であつて、彼自身はニコデモのその後の行動をちゃんと評価している。

訳文はおおむね明快で読みやすい。ただフランス語の表記や訳語に時折誤りが見られるのは惜しいと思つた。聖書の版ピブル・スゴン（スゴンドと表記してある。七頁）など。

（くめ・あつみ 仏文学者）
（新書判・二三三頁・本体一〇〇円＋税・ヨベル）

プロテスタントからカトリックへ橋をかける説教
ストラスプールの街から

マルク・リエナール 著 時任美万子 訳



世界的に著名なルター派神学者が語る、その思いとは！提示した説教はキリスト者信仰を生きかしてきたメッセージの力と喜びの幾分か通じるようにとの目的を持つ。我々の内にある確信と希望を証言するのみだ。神は過去のものではなく、今日も明日も生きておられるということ。（本文より）
●新書判・二三三頁・本体一〇〇円

好評既刊の本

川上直哉著（東北ヘルプ事務局長 現場から、世界から）
被ばく地フクシマに立って
吉田隆・評 茫漠たる津波による爪痕の地に立った時、私たちは語るべき言葉を探した。『被ばく地フクシマに立って』現場の呻吟に寄り添いつつ、語るべき言葉を探し続ける一人の神学者のレポート。ヨベル新書・本体一〇〇〇円

株式会社ヨベル YOBEL Inc.
info@yobel.co.jp 税別表示
〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-1
TEL03(3818)4851 FAX03(3818)4858
*自費出版の専門出版社*資料・星

今を生きる神の言葉、福音がここにある
越川弘英著

すてたもんじやない
同志社大学チャペル・アワー・メッセージ



栗原宏介

著者の越川弘英先生は同志社大学キリスト教文化センターの教員でありチャプレンである。本書は先生が同志社大学のチャペル・アワーにて語ってこられたメッセージをまとめた奨励集である。同志社大学では二つのキャンパスにおいてそれぞれ週三回チャペル・アワーが行われている。先生の宣教の中心的な現場である。

本書を一読してまず感じたことは分かり易いということである。いい意味で難しくない。言葉が平易であり、すっと入ってくる。読んでいるというよりは聞いている感覚に近い。しかし、分かり易いからといって浅く軽いかと言えばそうではない。取められている二三編の奨励がそれぞれにテーマの核心を突き、何よりもしっかりと聖書に立脚している。そこからは明確に神の言葉が聞こえてくるのだ。

こうした分かり易さを通して見えてくることがある。それはこのメッセージを聞く会衆の姿。さらにその人々が生きている時代と場所である。本書に収められているメッセージは二〇〇五年から始まり二〇一五年にまで至る。その時々にあつて具体

的な課題や社会問題が取り扱われている。たとえば二〇〇五年、同志社大学は「命」に関わる二つの大きな出来事を経験した。JR福知山線脱線事故と同志社大学に在籍する学生が小学生を殺害した事件である。これらの出来事の直後に語られたメッセージが本書にある。真正面からこの事件と向き合い先生を含む教職員と学生が抱える思いや祈りや願いが聖書の言葉や同志社の建学の精神を土台として語られている。

時を移して二〇一五年のメッセージではいわゆる「安全保障法制」について触れられている。先生の立っている場所からこの法について批判的に見つめ語っているのである。大学教員として、キリスト者として。そしてこのメッセージはこう結ばれている。「平和と安全への道」を世界のすべての人々が願いを求めています。ただしそれは『戦争経由ではない道』でなければなりません」と。こうしたメッセージから正に時代が見えてくる。時代だけではない。それとともに先生はそこに集う人々が抱える悩みや課題とも向き合う。本書の書名にはそのことがよく表れている。私はこの書名に本書に一貫して流れているテーマ

を強く感じる。そう「すてたもんじやない」だ。十年間に及び語られてきたメッセージには頑ななまでに書名に象徴される「命の大切さ」が示されている。あなたは大切な存在であるという語り掛け。そこには同志社の創立者新島襄の「人ひとりは大切」という言葉と同志社の建学の精神の根幹「良心」が意識されていることがわかる。しかしそれだけではない。先生には「あなたは大切な存在である」と神が言っているという揺るぎない思いがある。そうした神の存在の確信によって「あなたは一人ではない」とも力強く語られるのだ。

そうしたメッセージからチャペル・アワーに集う会衆（特に学生）が抱える不安や悩みが透けて見えてくる。あるいは先生が日ごろから出会い関わっておられる人々に感じている課題が見えてくる。重く垂れこめる孤独感や疎外感、将来への不安や今の自分についての不満、他者からの評価などアイデンティティーに関わる事柄など枚挙にいとまがないほどに向き合うべき

課題はあるようだ。そのような具体的な悩みや課題について聖書を手掛かりにひとつひとつ向き合っているからこそ本書に収められたメッセージが生きた言葉として迫ってくる。だからこそ、今、手にして読んでいる私にも、時代や場所や状況を越えて確かに届くメッセージになっているのだと思う。これは越川先生がご自身の宣教の現場で格闘し紡いできた生きた言葉の記録だ。今を生きる神の言葉、福音がここにある。（四六判・二二六頁・本体一七〇〇円＋税・キリスト新聞社）
〈ぐりばら・こうすけ〉日本基督教団奈良教会牧師、同志社大学チャプレン

井上洋治著作選集3 シリーズ全5巻完結!!

キリストを運んだ男 パウロの生涯

山根道公 編・解説 若松英輔 解説

異邦人伝道に苦闘したパウロの生涯
と思想を、自身の経験に重ねて考察。
新たに遠藤周作氏との対談を収録。

最終回 配本

A5判 上製・244頁・2700円

- シリーズ発売中 各巻2,700円 —
- 1 日本とイエスの顔
 - 2 余白の旅—思索のあと
 - 4 わが師イエスの生涯
 - 5 遺稿集「南無アツバ」の祈り

人物がわかると
聖書が100倍おもしろい!

旧約編 聖書人物 おもしろ図鑑

大島力 監修 金斗絃 イラスト
古賀博 真壁 麻 吉岡康子 編

旧約聖書の登場人物をカラーイラストで紹介。大人にも役立つ子どものための旧約聖書入門。

オールカラー

四六判 並製・112頁・1,620円

日本キリスト教団出版局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3204-0422 ☎03-3204-0457
E-mail eigyout@bp.uccj.or.jp 《価格8%税込》
<http://bp-uccj.jp>

教団教派を越えた祈禱と信仰の証し
東海林昭雄編、朝教会全国連合協力

語り継ぐ信仰 朝教会証し集



米田昭三郎

東海林昭雄牧師編集により、キリスト新聞社から二〇一五年一〇月に刊行された本書を手にし、私自身寄稿を依頼されながら書けなかったものの、推薦した多くの方々が寄稿され、朝教会全国連合協力のもと刊行されたことは感謝です。

執筆者それぞれが如何にして信仰に導かれ、与えられ、信仰に生かされているか、その喜びを次世代に語り告げようとして書かれている記事を読ませていただき感謝です。執筆者それぞれが記されておりませんが、イエス・キリストの尊い贖いにより救いにあずかった者として人々に語り告げずにおれない私たちですが、それには、何と言っても「祈り」なくして実現しないことを思わしめられます。

本書にも記されているように、一九五七年一月、新築になった大阪クリスチャンセンターに集まった一四名のキリスト者が「このセンターの活用について、神の知恵と導きを得る。」ために祈ろうと、毎週月曜日の朝、仕事の前に始められたのが「大阪朝食祈禱会」のちの「大阪朝教会」。更に五年後の一九六二年に各地にできた一五会場とともに第一回全国大会を開催し朝

教会全国連合を結成することとなりました。祈りが祈りを生みだし一五年後には七〇会場に増加。現在までの登録は二七〇余りに及びますが、実質活動は一七〇カ所余りです。

朝教会では牧師も信徒も神のみ前で一禱友として、共に賛美し、みことばに聴き、祈りを共にする恵みと祈りの応答として証しなされていることは、「世界でも類をみない超教派による祈禱会」と言えるでしょう。祈る課題が多い我が国にあって、キリスト者が心を合わせ、日本の救霊のわざと促進、国家国民のための執り成しの祈りが求められています。

「願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにさげなさい。王たちやすべての高官のためさげなさい。これは、わたしたちの救い主である神の御前に良い事であり、喜ばれることです。神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。」(テモテへの手紙 一章一―四節)

私自身、二四歳で大阪朝食祈禱会に導かれ、教団教派を越えてエキュメニカルな集いと祈禱を経験。多くの信仰の先人や禱

友との出会い、それにキリスト教諸団体との出会いは信仰生活に大きな力となり、励ましとなり、信仰の財産となりました。

本書にも執筆者の半数が教職者で、朝教会につながり奨励とともに御指導くださっていることは幸いです。朝教会を通して各教会の祈禱会が盛んになり、各教会の伝道のわざが祝されることを願うものです。

信仰は個人個人の問題であるとともに、ヘブライ人への手紙一三章七節「あなたがたに神の言葉を語った指導者たちのことを、思い出しなさい。彼らの生涯の終わりをしっかりと見て、その信仰を見倣いなさい。」とあるように、語り告げていく者でありたく願います。

本書に寄稿されている中で吉本美枝牧師、尾島元始兄が帰天されましたが、記されている証しは、これからも生き続け、私たちに祈ることの大切さ、それも執り成しの大切さを教えてくれます。是非、本書を手にし、近くの朝教会に出席され、教会

国家国民のため、世界平和のために共に祈り続け、更に多くの方々の寄稿により続編が刊行されれば幸いです。

(四六判・二二六頁・本体一四〇〇円＋税・キリスト新聞社)
よねだ・しょうさぶろう 元朝教会全国連合会長、大阪朝教会世話人代表、大阪クリスチャンセンター理事長



キリスト教書総目録 2016年版

バツハとマザー・テレサ 巻頭エッセイ 徳善義和氏 片柳弘史氏

内容 総記・年鑑・辞事典 図説・年表／全集(著作集) 叢書・講座／聖書／聖書学／神学／宗教学 思想・倫理／伝記／ライオン／信仰／入門書 人生論 説教集／文学小説／評論／エッセイ 詩劇／音楽 美術 建築 教育保育 心理 社会福祉 児童 絵本 讃美歌 式文／DVD CD カセット レデオ／キリスト教関連雑誌・新聞 書名索引／著者索引／掲載出版社名簿

■ A5判 一般頒価1冊286円＋税 送料250円
■ お近くの書店様でお求めください。

キリスト教書総目録刊行会
事務局 〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24 トーハンビル内
TEL.03-3266-9521

本屋さんを選んだ お勧めの本

神戸キリスト教書店 藤本新作

『人を恐れず、 天を仰いで』

広岡浅子著



1,700円+税
新教出版社

NHK朝ドラのヒロイン、広岡浅子を紹介している書籍は、いま多く出回っていますが、この二冊は是非お勧めしたい本です。初めに、新教出版社刊『人を恐れず 天を仰いで』。キリスト者になってからの浅子本人が書いた文章は、実業界で培った力強い姿勢を彷彿とさせます。ルターの宗教改革から五〇〇年を迎えようとしています。この時期に彼女の豪胆な信仰観を学んでみるのもよいのではないのでしょうか。生きた信仰は、今も変わらず、廃れることなく私たちへの証として、励ましと希望を与えてくれます。「苦しみにあったことは私にとって益でした。それによって、あなたの掟を学びました」。彼女が信仰にいたった道筋がわかります。

『浅子と旅する。』



1,200円+税
いのちのことば社

もう一冊は、いのちのことば社刊『浅子と旅する。』です。浅子の系図、貴重な写真を通して時代をタイムスリップできます。十代の青年からご年配の方まで、幅広い層の読者にお勧めしたい良書です。新しい年、信仰者としての歩みを、この二冊の本を読むことで始めてはいかがでしょうか。

神戸キリスト教書店

〈三宮店〉

〒650-0021 神戸市中央区三宮町3-9-18

三陽ビル2F

TEL: 078-331-7569 (代表)

FAX: 078-331-9933

E-Mail: kobe-kirisy@mse.biglobe.ne.jp

〈北店〉

〒651-1141 神戸市北区泉台1-1-7

TEL: 078-594-8900

FAX: 078-594-8826

『神のみ前に 立って』

大住雄一著



2,500円+税
教文館

待晨堂 市川義生

店番に立っていると時々お客様から、良い註解書はありませんか、と聞かれることがあります。特にレイマン（教職者でない平信徒）の方から聞かれると困ってしまいます。纏ったもので適当なものが現在では出版されていないし……。

そこでいわゆる註解書といったものではなくても、聖書の理解に役立つ単行本の中からお勧めすることがあります。本書は「出エジプト記」と「申命記」に書かれているモーセの十戒について学びたい、と言われた時にお勧めしたい一冊です。なにしろキリスト教ラジオ放送FEBICで語られたものを基にしているのでわかりやすい読みやすい。また著者は東京神学大学教授で、東神大修士課程の時から永年にわたり旧約律法研究を専門とされているので確かな信仰と知識に基づいて書かれているからです。

一気に読めて、尚且つ繰り返し読みたい一冊です。

『新約聖書 試訳』

塚本虎一著



4,000円+税
聖書知識社

内村鑑三の弟子による聖書の個人訳は関根正雄による旧約聖書（教文館）、前田護郎による新約聖書（中央公論社）があり、塚本虎二のものは永らく岩波文庫の一部訳や聖書知識社の分冊しかありませんでした。本書は塚本が生前に為した新約聖書の〈試訳〉を弟子達の手によって纏められたものです。

訳が文語体なので若い方々には読みにくいかもしれませんが、読めば心に響くはずです。そして何と言っても豊富な敷衍によって大いに聖書理解の助けになります。A5判上製、一二五二頁でこの価格は考えられません。絶版になれば数倍の価値がでることでしょう。

待晨堂

〒116-70053 東京都杉並区西荻南3-16-1

TEL: 03-3333-5778

FAX: 03-3333-6378

営業時間: 10時~19時

休業日: 日曜（11月、12月以外は祝日）第1、3、5月曜も

URL: <http://taisindo-books.jimdo.com/>

既刊案内 (2015年10月～11月) (定価はすべて本体価格+税)

著 訳・編 者	書 名	判型	頁	本体価格	版 元	発行日
塩 野 和 夫	キリスト教教育と私 中篇	四六	224	1,500	教 文 館	10/30
丸 山 忠 孝	カルヴァンの宗教改革教会論 — 教 理 史 研 究	A 5	534	4,800	〃	10/30
A.E.マクグラス著 鈴木 浩 訳	ルターの子十字架の神学 — マルティン・ルターの神学的突破	A 5	308	4,200	〃	10/30
J.ドミヤン 版画 押田 成人 詩	白 い 鹿	A 4	74	5,000	日本キリスト 教団 出版局	10/5
八 木 俊 久	逆 説 から 歴 史 へ — バルト神学におけるキリスト論的思惟の変貌	A 5	363	3,600	新 教 出 版 社	10/22
川 上 直 哉	ポスト・フクシマの神学とフォーサイスの罪論 — 大 森 講 座 29	四六	294	1,300	〃	10/30
J.S.スボング 著 富田 正樹 訳	信じない人のためのイエス入門	A 5	404	3,700	〃	10/30
上智大学キリスト 教文化研究所編	聖書の世界を発掘する — 聖書考古学の現在	四六	174	2,000	リ ト ン	10/30
ルター研究所編	宗教改革500周年とわたしたち3 — ルター研究 別冊3号	A 5	215	2,000	〃	10/30
渡 辺 兵 衛	あなたがたは地の塩である	四六	182	1,400	キリスト新聞社	10/21
東海林昭雄 編 朝拝会全国連合協力	語 り 継 ぐ 信 仰 — 朝 拝 会 証 し 集	四六	226	1,400	〃	10/21
大 和 昌 平	牧師の読み解く般若心経	新書	272	1,000	ヨ ベ ル	10/9
西 谷 幸 介	十字架の七つの言葉 — キリスト教信仰入門	四六	196	1,500	〃	10/15
ジュセッパ 三木一 著 佐藤弥生訳、ゲオルギイ 松島雄一監修	師 父 た ち の 食 卓 で	A 5	272	2,200	〃	10/10
市 川 康 則	弁 証 学 — 〈改革派教義学〉別巻	A 5	358	4,800	一 麦 出 版 社	10/1
大 崎 節 郎	教 義 学 論 文 集1 — 大 崎 節 郎 著 作 集1	菊判	423	6,000	〃	10/28
鈴 木 崇 巨	日 々 の 祈 り — 手 引 き と 例 文	四六	196	1,500	教 文 館	11/20
小 高 毅	靈 性 神 学 入 門	四六	260	2,200	〃	11/25
フランシスコ会日 本管区訳・監修	〈キリスト教古典叢書〉 アジジの聖フランシスコ伝記資料集	A 5	820	7,800	〃	11/30
大 島 力 監 修	聖 書 人 物 お も し ろ 図 鑑 旧 約 編	四六	112	1,500	日本キリスト 教団 出版局	11/15
山根道公 編・解題 若松英輔・解説	井上洋治著作選集3 キリストを運んだ男 — パウロの生涯	A 5	244	2,500	〃	11/20
大 野 恵 正	旧 約 聖 書 入 門 2 — 現代に語りかける父祖たちの物語	B6変	373	1,900	新 教 出 版 社	11/30
越 川 弘 英	すてたもんじやない — 同社社大学チャペル・アワー・メッセージ	四六	216	1,700	キリスト新聞社	11/11
ヘボン、ブラウン、奥野著 久米三千雄 編・校注	元 始 に 言 霊 あ り 新約聖書 約翰傳 全《現代版》 — 禁教下の和訳聖書 ヨハネ伝	A 5	164	1,200	〃	11/27
林 勳 三	マタイによる福音書 — 13章から16章の説教	四六	194	1,700	一 麦 出 版 社	11/2

書店名	郵便番号	住所	電話	ファックス	URL	メール	郵便振替
北海道キリスト教書店	060-0807	札幌市北区北七条西6丁目	011-737-1721	011-747-5979	http://www.jb-shop.com	sasaki@jb-shop.com	02770-2-56520
善隣館書店	020-0025	盛岡市大沢川原3-2-37	019-654-1216	共用	http://www7.ocn.ne.jp/~zen-book/	zenrinkan_syoten@yahoo.co.jp	02350-0-874
仙台キリスト教書店	980-0012	仙台市青葉区御1-13-6 東北教区センター・イマof	022-223-2736	共用		fqcwk524@ybb.ne.jp	02230-0-31152
恵泉書房	260-0021	千葉市中央区新館2-8-2 千葉クリスチャンセンタービル	043-238-1224	043-247-3072		keisen@vesta.ocn.ne.jp	00120-9-43619
教文館	104-0061	東京都中央区銀座4-5-1	03-3561-8448	03-3563-1288	http://www.kyobunkwan.co.jp	xbooks@kyobunkwan.co.jp	00120-2-11357
聖公書店	350-1331	埼玉県狭山市新狭山1-5-1	042-900-2771	042-900-2722		seikoshoten@bible.or.jp	
アバコ・ブックセンター	169-0051	東京都新宿区西早稲田2-3-18	03-3203-4121	03-3203-4186	http://www.avaco.info	avaco@avaco.info	00130-0-96398
待晨堂	167-0053	東京都杉並区西荻南3-16-1	03-3333-5778	03-3333-6378	http://taishindo-books.jimdo.com/	taishindo@jcom.home.ne.jp	00110-8-95827
キリスト教書店ハンナ	162-0814	東京都新宿区新小川町9-1	03-3269-4490	03-3269-4491		kirisutokyoushotenanna@ybb.ne.jp	00150-9-595509
バイブルハウス南青山	107-0062	東京都港区南青山5-10-2	03-6418-5230	03-6418-5231		biblehouse@bible.or.jp	
横浜キリスト教書店	231-0063	横浜市中区花咲町3-96	045-241-3820	045-241-5881	http://www7.biglobe.ne.jp/~yokohama-cts/index.html	sksch@mva.biglobe.ne.jp	00250-4-2512
清光書店	951-8114	新潟市営所通一番町313	025-229-0656	共用			00560-8-51419
静岡聖文舎	420-0866	静岡市葵区西草深町20-26	054-260-6644	054-260-5612		info@s-seibun.co.jp	00810-8-26558
名古屋聖文舎	464-0850	名古屋市千種区今池5-28-4	052-741-2416	052-733-2648	http://homepage3.nifty.com/seibunsha/	nagoya-seibunsha@nifty.com	00810-5-14073
京都ヨルダン社	602-0854	京都市上京区荒神口通河原町東入ル	075-211-6675	075-211-2834		ktjordan@mbox.kyoto-inet.or.jp	01010-2-594
大阪キリスト教書店	530-0002	大阪市北区曾根崎新地2-1-15	06-6345-2928	06-6345-2187	http://osakacbs.web.fc2.com/	ochrbook@river.ocn.ne.jp	00990-3-43009
堺キリスト教書店	591-8044	堺市北区中長尾町2-1-18	072-257-0909	072-253-6132		sakai-jbs@bible.or.jp	00960-9-47426
神戸キリスト教書店	650-0021	神戸市中央区三宮町3-9-18三陽ビル2F	078-331-7569	078-331-9933			01150-7-45120
広島聖文舎	730-0841	広島市中区舟入町12-7	082-208-0022	082-208-0177		hseibun0951@yahoo.co.jp	01360-4-1958
徳島キリスト教書店	770-0052	徳島市中島田町3-57-1	088-633-6335	共用	http://www6.ocn.ne.jp/~tcs/	tokushoten@shirt.ocn.ne.jp	01630-5-37119
松山キリスト教書店	790-0804	松山市中一万町1-23	089-921-5519	089-921-5413		sksch@dokidoki.ne.jp	01650-1-2120
北九州キリスト教ブックセンター	802-0022	北九州小倉北区上富野5-2-18	093-967-0321	共用	http://kcbook.net./	kcbookcenter@ybb.ne.jp	01780-4-39965
新生館	810-0073	福岡市中央区舞鶴2-7-7	092-712-6123	092-781-5484			01750-5-10932
キリスト教書店ハレルヤ	862-0971	熊本市大江4-20-23	096-372-3503	共用			017304-45044
沖縄キリスト教書店	901-2131	浦添市牧港1-60-6	098-877-7283	共用	http://www.okinawacbs.com/	okinawacbs@yahoo.co.jp	020308-1283

※一般書店関係の方は 日キ販営業部 TEL 03-3260-5670 にご連絡ください。

新教出版社

福音と世界

2016年2月号

特集 聖書と文学

寄稿者 若松英輔、水野隆一、宇野元、柴崎聰

韓国神学の新たな潮流「オン神学」下 洛雲海

本田哲郎神父への応答 山口雅弘

好評連載 聖書とわたし(山根基世)、レヴィナス

の時間論(内田樹)、ことばの履歴書(佐藤優)、

南島キリスト教史入門(色哲)、詩篇の思想と

信仰(月本昭男)、新約釈義(青野太潮) 他

A5判・本体588円・〒70円

定期購読についてはお気軽にご相談下さい。

イエス・キリストの信仰

ガラテヤ3章1節-4章11節の物語下部構造

リチャード・ヘイズ著

河野克也訳 待望の邦訳



イエス・キリストの信仰
ガラテヤ3章1節-4章11節の物語下部構造
リチャード・ヘイズ 河野克也訳

文芸批評的方法論を存分に活用し、テキストの精緻な読み取りから解明されたパウロ神学の核心。

510頁・本体6500円

〒162-0814 東京都新宿区新小川町9-1

TEL: 03-3260-6148

Email: sales@shinkyo-pb.com

編集室から

二〇一五年七月にアマゾンが書籍の内容を音声で聴くオーディオブックの配信サービス「Audible（オーディブル）」を日本で始めた。米国など世界的に普及しているオーディオブックは、海外では書籍市場の約一〇%になっていて、米国では、グラミー賞にオーディオブック部門があるほど認知されている。アマゾンのサービスはスマートフォンで専用アプリをインストールすれば利用が可能。小説、ビジネス書、語学学習、ライトノベル、落語など幅広いジャンルで日本語コンテンツを数千タイトルそろえている。また、朗読スピードは〇・五倍から三倍まで六段階で調節が可能。初月は無料で、二カ月目以降は月額一五〇〇円での音声コンテンツが聴き放題の定額制サービス。機能として、章を飛ばして聴いたり、聴き直すためブックマークにメモをつけて保存することができる。

アマゾンより先に国内でのオーディオブック配信サービスを行っている「FaBe（フィービー）」は一万三千点のラインナップを揃え、現在国内最大のコンテンツ数を誇る。芥川賞を初

めとする文芸作品も含まれている。声のプロである声優やナレーターが音声を吹き込んでいて、物によっては効果音が入っている。オーディオブックの価格帯は、一般の紙の書籍と同程度。同社のサイトではサンプル音源があるので、耳での立ち読みもできる。

オーディオブックはビジネスパーソンが主たる利用者となっていて、通勤時間中にスマートフォンでの「ながら聞き」でビジネス書を耳で勉強する目的が多いとのこと。ジョギングや料理中にも本を聴けることを考えると利用者層は広まるかもしれない。電子書籍がなかなか普及しない中、パソコンやタブレットでは目が疲れてしまったり、小さい文字を読むのが苦痛の高齢者、子供への絵本の読み聞かせといった読書にまつわる状況を想定すると、オーディオブックは新感覚の読書体験を期待させてくれる。複数人で同じ書籍を同時に楽しむことができ、「試聴会」なるものができるかもしれない。(友川)

戒規か対話か

【新教コイノニア31】

聖餐をめぐる日本基督教団への問いかけ

1月20日

北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる会編

北村牧師は洗礼を受けていない者への配餐を行ったゆえに戒規に処され、牧師職を逐われた。このことを憂う40名の信徒・牧師たちが、それぞれの視点からこの事件の神学的・教会政治的意味を考察した論考および座談を収録。

◆A5判・本体1600円

日本のプロテスタントイイズムの政治思想

1月25日

無教会における国家と宗教

柳父 圀近著（やぎみう・くにちか氏は東北大学名誉教授）「2つのJ」とどう向き合うか
内村・南原・矢内原・大塚らは近代日本における国家形成と国民形成の課題を通じて「テーマとしての国家と宗教」を鋭く意識していた。彼ら無教会派知識人における「ネイション」と「ステイト」のクリティカルな関係に迫った意欲的研究。

◆四六判・本体3800円

近代世界の成立にとつての プロテスタントイイズムの意義

好評

エルンスト・トレルチ著／深井智朗訳

トレルチ生誕150年

ルターと近代とを安易に直結させる当時のナショナルな解釈に抗し、その因果連関を多面的に分析した歴史的講演の新訳。

◆四六判・本体2600円

信じない人のためのイエス入門

好評

宗教を越えて

J・S・スポンゲ著／富田正樹訳

◆A5判・本体3700円



N・T・ライトの主著、ついに邦訳開始 新約聖書と神の民 上巻

キリスト教の起源と神の問題 1

N・T・ライト著／山口希生訳

大きな話題

パウロと初期キリスト教史研究に新生面を切り開いてきた著者が、現在全6巻の壮大な構想で進めている「キリスト教の起源と神の問題」の第1巻。その前半にあたる本書は、聖書学方法論を徹底的に再検討した後、新約聖書のユダヤ教的前提を詳述し、原始キリスト教理解の導入をはかる。

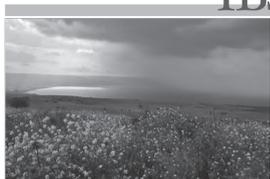
◆A5判・本体6400円

教会の聖書研究に最適なシリーズ。10回の学びでマルコを読了!

マルコによる福音書

R.I.ダイバート 著
挽地茂男 訳

IBS



現代聖書注解スタディ版

日本キリスト教団出版局

現代聖書注解スタディ版 **IBS**
Interpretation Bible Studies

マルコによる福音書

R.I.ダイバート 著
挽地茂男 訳

読者をイエス・キリストとの出会いに導くため、最初の福音書を書いたマルコ。10単元でマルコ福音書を読み解き、現代の読者をこの出会いの驚きと喜びへ招く。

◆A5判 並製・224頁・2,808円

第7回
配本

IBS シリーズについて ■日本語版監修 大島 力 / 中野 実

- 10の単元で構成され、個人だけでなくグループの学びにも最適
- 釈義の枠にとどまらず、読み物として面白い
- コラムや語句説明が充実しているほか、参考文献案内や、単元ごとに自分自身にひきつけて考えるための問いを収録

シリーズ刊行案内

創世記

C.B.シンクレア 小友 聡 訳 2,484円

出エジプト記

J.D.ニューサム 大串 肇 訳 2,592円

詩編

J.F.D.クリーチ 飯 謙 訳 2,484円

エレミヤ書

R.R.ラハ Jr. 深津容伸 訳 2,376円

マタイによる福音書

A.M.マッケンジー 宮本あかり 訳 2,592円

ルカによる福音書

T.W.ウォーカー 住谷 眞 訳 2,592円

続刊予定

ヨハネによる福音書

M.A.マットソン 高砂民宣 訳